

令和5（2023）年度

中央区予算案プレス発表

新たなステージへ！



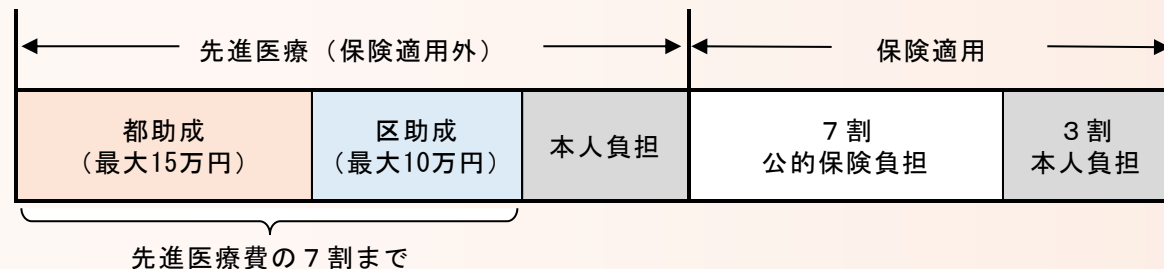
安心して子どもを産み育てるために

妊娠期の支援

子どもの健康への支援

新 特定不妊治療医療費（先進医療費分）助成

保険診療とあわせて実施した先進医療（保険適用外）にかかる不妊治療費への助成



補助上限額 年度内 最大10万円

充 多胎妊婦への健診費用助成

内容 多胎妊婦 最大19回（現行14回）分を助成

充 3歳児健診時の視力検査の充実

弱視等の早期発見のため、3歳児健診時に実施する視覚検査に新たに屈折検査を導入

実施場所 中央区保健所、各保健センター

充 子ども医療費助成の対象拡大

子どもの通院・入院にかかる保険診療の自己負担分等の助成対象を拡大

内容	～令和4年度	令和5年度～
対象児童	15歳到来後の年度末まで （中学校3年生まで）	18歳到来後の年度末まで （高校3年生相当まで）
対象費用	・保険診療自己負担分 ・入院時食事療養標準負担額	・保険診療自己負担分 ・入院時食事療養標準負担額
所得制限	なし	なし

仕事との両立支援

充 保育所の定員拡大

待機児童ゼロ（R4年4月達成）を継続するため
引き続き保育環境の整備を進める

保育所定員（見込み）

令和5年4月 6,749名

令和6年4月 7,154名（405名拡大）

充 民間学童クラブの誘致（開設支援）

令和6年4月開設に向け、民間学童クラブを誘致

募集地域 月島地域

募集規模 最大3クラブ（概ね120名規模）

子育ての家計負担の軽減

新 学校給食費・保育所等副食費の 無償化

無償化の対象

児童・生徒（学校給食費）	未就学児（副食費）
中央区立小学校 中央区立宇佐美学園（昼食分） 中央区立中学校	認可保育所 認定こども園 認証保育所（1号認定を除く）

負担軽減額

（1人当たり月額）

	給食費 副食費	区補助額	保護者 負担額
小学校（低学年）	4,140円	4,140円	0円
小学校（中学年）	4,360円	4,360円	0円
小学校（高学年）	4,600円	4,600円	0円
中学校	5,200円	5,200円	0円
未就学児	4,500円	4,500円	0円

妊娠期から出産後まで一貫した支援

区
独自の
既存事業

主な経済的支援

出産支援祝品の贈呈

妊娠時

タクシー利用券(1万円分)※多胎児妊婦は2万円分

新生児誕生祝品の贈呈

出産後

区内共通買物・食事券(3万円分) ※感染症等を踏まえ臨時的に5万円分

妊娠時

妊娠8カ月頃

出産

～出生後4カ月頃

2歳

伴走型相談支援 と 経済的支援 を一体的に実施

新 出産・子育て応援事業

妊娠届時

・全員面談 ・Webカタログギフト支給(5万円相当)

妊娠8カ月頃

・希望する方に保健師等による面談

出生後

・保健師等による全数面談 ・Webカタログギフト支給(5万円相当)

新 バースデーサポート

2歳を迎える頃

・情報提供や相談支援

・Webカタログギフトの支給	第1子	1万円相当
	第2子	2万円相当
	第3子以降	3万円相当

(R5年度分まで予算化)
R4年度2月補正

地域の活気とにぎわいの向上・創出

地域の交流・にぎわい促進

晴海地域交流センターの整備・開設

にぎわいと交流、コミュニティの新たな拠点を開設
(主な機能) 地域活動・多世代交流・トレーニング・
音楽スタジオ、学習スペース など

(開設予定) 令和5年10月1日

新 日本橋川沿いエリアの

にぎわい支援

首都高日本橋上空の地下化など工事が長期にわたる
当該エリアのにぎわい創出事業への補助

- ・補助率 5 / 6
- ・上限額 (短期催事・イベント) 40万円
(長期催事・イベント) 1,000万円

充 地域手づくりイベント推進助成

地域コミュニティのさらなる連携・醸成・活性化
を図るため、既存の助成額への上乗せ助成として、
新たに「地域連携加算」を行う。

(加算要件)

町会・自治会がPTAなど他の団体等と連携して
イベントを実施する場合

(加算額) 10万円

新 シティプロモーションの展開

国内外からの観光客や区民など、ターゲットに応
じて、戦略的・効果的に区の情報や魅力などを発信
するための仕組みづくりを行う

地域経済の下支え

区内共通買物・食事券の発行

- ・発行総額 プレミアム含め 総額 18 億円
※ プレミアム率 20%
- ・発行時期 令和 5 年 6 月中旬予定
- ・利用期限 令和 6 年 3 月 31 日

充 商店街支援事業の充実

商店街の行うイベント等に対する補助制度に「組織活力向上支援イベント事業補助」を追加

(対象) 商店街振興組合、事業協同組合

(補助率) 11 / 12

(上限額) 825 万円

新型コロナウイルス感染症対策

緊急特別資金融資の借換制度延長

コロナ禍の影響が長期化する中で、事業者の資金繰りに係る負担の軽減を図るため、令和 4 年度に実施した「感染症対策特別資金の借換制度」を 1 年延長

◆借換融資制度の概要

- ・貸付限度 借入残高 (最大 2,000 万円)
- ・返済期間 7 年以内 (元金据置 12 カ月以内含む)
- ・融資利率 年 1.8% (内 本人負担年 0.3%)
- ・信用保証料 区が全額補助
- ・申込期間 令和 6 年 3 月 31 日まで

脱炭素社会の実現に向けて

脱炭素社会への転換

新 建築物ゼロカーボンの 促進に向けた基礎調査

区内建築物の新築時におけるZEB・ZEH化への誘導に向けた方策・制度構築のための基礎調査

(主な調査項目)

- ・ ZEB・ZEH化への課題整理
- ・ 建物所有者等への意向把握 など

新 Team Carbon Zero (仮称) ～ 若い世代による環境行動の実践

将来を担う若い世代が、省エネルギー・脱炭素化に向けて自ら考え実践する場・機会を創出

- ・ 対象 区内在住・在学者および若手の在勤者
- ・ 内容 ワークショップ等の実施、
イベントへの参加、自らの取組などを
SNSを通じて情報発信 など

再生可能エネルギー・省エネルギーの推進

新 区有地を活用した

太陽光発電所の整備

未利用地を活用し、オフサイトPPA※により太陽光発電所を整備し、区施設へ電力を調達

整備地 千葉県館山市内（区有未利用地）

年間発電量 約73万kwh

発電開始 令和5年度末（予定）

※ オフサイトPPAによる整備は23区初

充 中央エコアクトのリニューアル

区民または事業者が省エネ活動を継続的に行う仕組みとして、新たにアプリやwebサイトを通して日々の省エネ行動を入力・記録し、取組内容や期間に応じてポイントまたはランク付けを行う

（参加メリット）

区民：獲得ポイントに応じた買物・食事券交換、環境学習事業の優先当選 など

事業所：獲得ランクに応じた助成制度の上乗せ など

R4.9月補正/繰越

充 自然エネルギー・省エネルギー機器等導入費助成

エネルギー価格の高騰や電力需給のひっ迫などに対応するため、臨時的に補助制度を拡充

拡充内容 助成単位・限度額を 既存制度のおおむね2倍

拡充期間 令和4年10月 ～ 令和6年3月

森林の保全と普及促進

環境学習事業

自然体験を通し、地球温暖化の防止や生物多様性の保全などを楽しみながら学べる機会を提供

場所) 檜原村内「中央区の森」やその周辺施設 など
内容) 森林保全活動体験や工作、動植物の観察 など
実施回数) 年間15回開催予定

「中央区の森」における森林保全の推進

檜原村との連携による森林保全活動を引き続き推進

- ・ 「中央区の森」協定地 51.3ha
※ 平成18年度以降協定地を順次拡大し活動

新 都内自治体との連携による 森林保全活動の推進

都内の自治体間が連携し、広域的かつ持続可能な森林循環の確立を目指す取組をスタート

(参加予定自治体)

中央区を含む複数の特別区、
多摩地域の市町村

(今後の予定)

令和5年度	協定締結、森林整備、 カーボンオフセット
令和6年度～	森林整備、カーボンオフセット、 現場体験、木材活用

魅力を高める都市基盤とネットワーク

親しめる水辺環境に向けて



新

水上交通活性化事業

都内随一の水辺空間を活用した魅力ある舟運ルートの開設に向けて、新たに基礎調査を実施するなど検討に着手

水の都プロジェクトの推進

朝潮運河の護岸上部を、区民が憩える親水性のある空間として整備

整備予定地 晴海五丁目西側

交通・歩行者ネットワークの整備

新 都心・臨海地下鉄新線検討調査

令和4年11月に東京都が公表した事業計画案を踏まえ、沿線区として区の考えを整理

(主な検討項目)

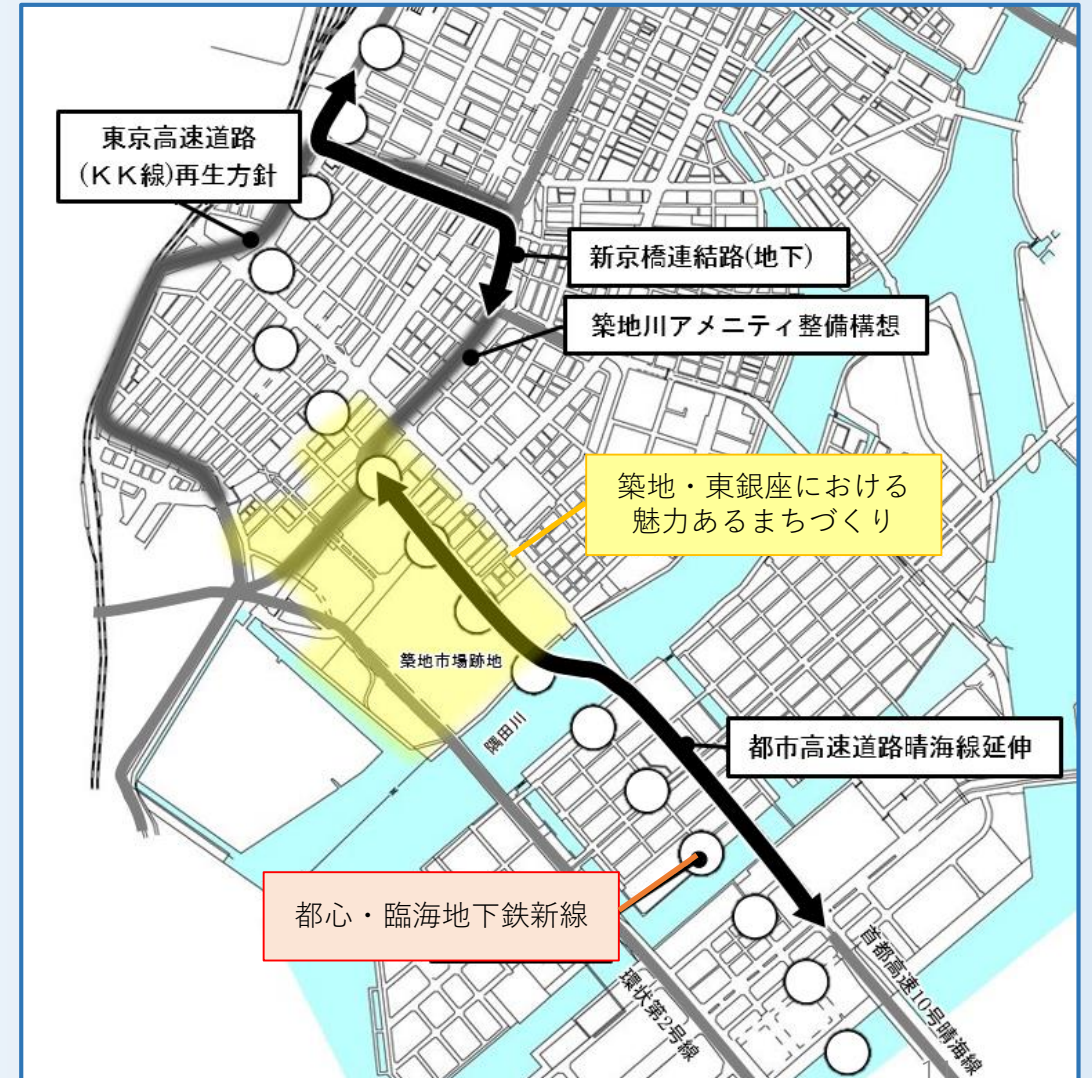
- ・周辺と連携した広域的な歩行者ネットワーク
- ・周辺開発等と連携した地下から地上部への接続

充 築地・東銀座における 魅力あるまちづくり

築地市場跡地開発、地下鉄新線など基盤整備計画が進行中

(主な検討項目)

- ・新たな基盤整備を踏まえた歩行者ネットワーク
- ・築地場外市場における来街者駐車場や荷捌き場の確保



交通・歩行者ネットワークの整備

首都高速道路上部空間の整備

築地川アメニティ整備構想の実現を目指して、高速道路上部空間の活用に必要な覆蓋化のための設計を実施

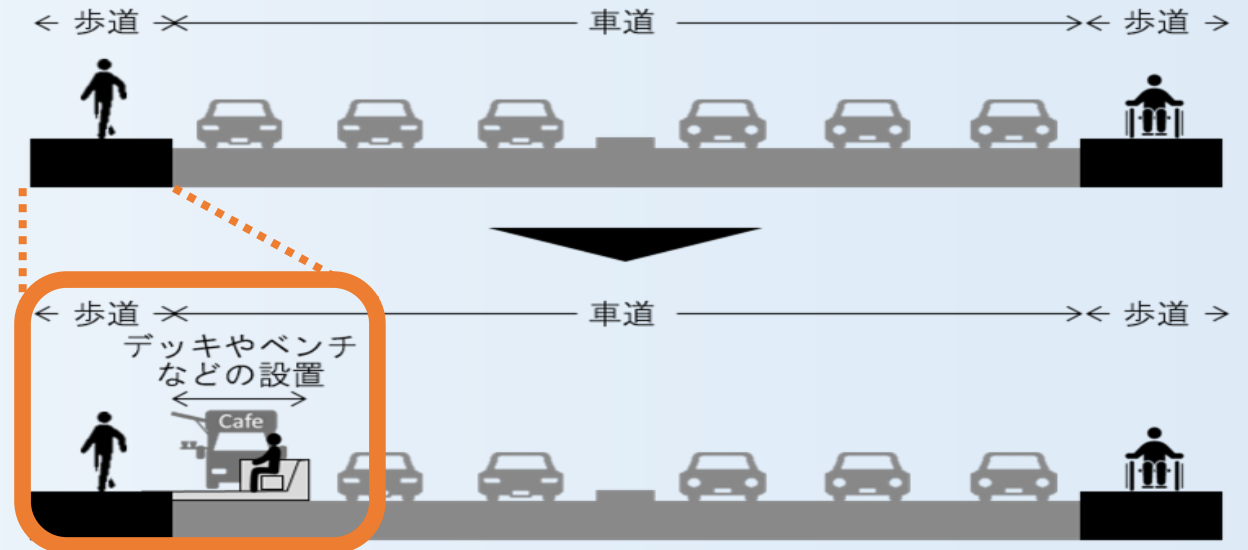
対象区間 首都高築地川区間（三吉橋～祝橋）



中央区築地川アメニティ整備構想（イメージパース）

東京駅前地区歩行環境検討支援事業

八重洲通りの一部にデッキやベンチを設置するなど歩行者が憩える空間を設けた社会実験を実施



道路空間を活用した社会実験のイメージ図